



たつふふふふふふふふふふ
かきしつて
又も

なま

井眉誌

寛政庚申春

いさ編のしり
ひれは
ら

友園

よき花の巻

親の事知りしはさむ見我升六
 とはれしあり一日の雲 友国
 川上をなれしは縁あり 田禾
 岩を志のく杉れ小丸太 魚眼
 丸ののあはしきまの月 国
 毛なるは枝のつるをまのほれ 六



早春 十一句

一 春をうつなを埋たれはをぬ 不二
くひをささばりてみればし 平下 巢光
ゆくへえりしをわ夕那 中 兼仙
まふちやおもて原六のむ 平下 完来
よねのあきらめはるけく 平下 李滯
二月のおしとぬより イセ 青川

春をうつなを埋たれはをぬ ニナ 素榮
ゆくへえりしをわ夕那 洛 紫悦
まふちやおもて原六のむ 山 方廣
よねのあきらめはるけく 方 方明
二月のおしとぬより 平下 長皇
くひをささばりてみればし 平下 長皇

春をうつなを埋たれはをぬ 瑞馬

春風の吹くを待てりや
銀獅

春風の吹くを待てりや
可文 大和

我輩の吹くを待てりや
竹有 ヨリ

春風の吹くを待てりや
芥水 治

30 春風の吹くを待てりや
芦涯

春風の吹くを待てりや
車尺

春風の吹くを待てりや
玄黄 共

春風の吹くを待てりや
未鉅 何

春風の吹くを待てりや
栢後

春風の吹くを待てりや
杉光

春風の吹くを待てりや
友国

春雷 云 春 云 春 云 春

春風の吹くを待てりや
重厚 アツミ

春風の吹くを待てりや
閑叟 浴

江排洛 夕 月居

40 昔三 田木

吾長

西李

鯉白

士朗

春月

春月

西月居

月居

跨山

50 東亭

代蟻

春蟻

書きのつらき月 陀岳
春のあけのつらき月 小隅 又成

芳野山 四

つらき月 見ゆるもの 大和 田居

花よりつらき月 秋屋

月よりつらき月 魚眼

今もつらき月 山

つらき月 升六

10

つらき月 人

つらき月 也 世に

つらき月 初 世に

つらき月 世に

つらき月 世に

つらき月 世に

つらき月

氏坊書

まろねのてし

花のつぼみはさかすかにあけり
 魚眼
 まろねのつぼみはさかすかにあけり
 布石
 まろねのつぼみはさかすかにあけり
 友国
 まろねのつぼみはさかすかにあけり
 一子
 まろねのつぼみはさかすかにあけり
 井眉



如くさす心解れらるの事い
 清きもの名鞍よりをらも寸
 へくくくくくくくくくく
 牡丹のさくらいさくも紫
 海もくくくくくくくく
 奉るなれぬ顔をもくく
 釣の月ゆきくくくく
 舟のくくくくくくく

田禾
 桃源
 瑞馬
 南六
 巴就
 李丈
 壽剛
 乙人

松さくくくくくくくく
 尾好きたらぬ心からく
 梅の白波あまのくく
 ちのは刀れも困なりく
 廻極のつ日くくくく
 20 釣のくくくくくく
 雲海さくくくくく
 空りくくくくく

雪海
 夜人
 築子
 吾雀
 橋室
 鳥水
 赤雲
 板積

杉光
 桃水
 春紫
 鯉千

一順下略

梅土句

那の松た人よんえん松のこ 平下 成美

月は松あかりたうん カク 可如里
 梅雪くまふく山あふ那 イセ 桂堂
 雪月のまふ松のほら 共 一子
 山はし海きく松の サカイ 龍童
 松くまふく松の 共 若翁
 梅は花おんも 共 自樂
 大い松を 共 棠子

梅柳印 子丑

蝶 号 蛙 号 猫 号 虫 号

蝶 号 蛙 号 猫 号 虫 号
 蝶 号 蛙 号 猫 号 虫 号
 蝶 号 蛙 号 猫 号 虫 号
 蝶 号 蛙 号 猫 号 虫 号
 蝶 号 蛙 号 猫 号 虫 号

30
 蝶 号 蛙 号 猫 号 虫 号
 蝶 号 蛙 号 猫 号 虫 号
 蝶 号 蛙 号 猫 号 虫 号
 蝶 号 蛙 号 猫 号 虫 号
 蝶 号 蛙 号 猫 号 虫 号
 蝶 号 蛙 号 猫 号 虫 号
 蝶 号 蛙 号 猫 号 虫 号
 蝶 号 蛙 号 猫 号 虫 号
 蝶 号 蛙 号 猫 号 虫 号
 蝶 号 蛙 号 猫 号 虫 号

妻居 雉 山

山 友 御
川 峯 雄
山 里 人
40
山 里 人 雉 居 山 峯 雄 人

船 山 嶽 の 舟 人 船 居 吐 雲
隠 山 嶽 の 舟 人 船 居 孤 周
妻 居 山 嶽 の 舟 人 船 居 婦 国
山 嶽 の 舟 人 船 居 字 舟
山 嶽 の 舟 人 船 居 十 左
妻 居 山 嶽 の 舟 人 船 居 井 眉

妻 居 山 嶽 二句
妻 居 山 嶽 二句

色の川にさかすまの空 粟 蓬宇
 陽の光をさかすまの空に
 桃水
 氷儿
 人見の光をさかすまの空に 洛亨
 紫の光をさかすまの空に 紫二日月 カカイ 羽觴
 花の光をさかすまの空に ノ 款 ミチ 柳庄

花の光をさかすまの空に
 紫の光をさかすまの空に
 人見の光をさかすまの空に
 陽の光をさかすまの空に
 色川の光をさかすまの空に
 蓬宇の光をさかすまの空に
 粟の光をさかすまの空に
 紫の光をさかすまの空に
 桃水の光をさかすまの空に
 氷児の光をさかすまの空に
 洛亨の光をさかすまの空に
 羽觴の光をさかすまの空に
 柳庄の光をさかすまの空に

花のついで

花のついで
 瑞馬
 井眉
 六
 六
 眉

新紀の巻の終り
海風あそびし
葉乃あそびし
花柳あそびし
糸乃あそびし
中もあそびし

六 禾 眉 六 禾 眉 六 禾

あけはるあめ
住持あめ
た刀およ
西よあ
縁ぬ
まのあ

屋 六 眉 禾 坊 筆

升六
瓜坊
瑞馬
田禾
井眉
秋屋

藪のけりやまのりつる梅のむし甫六

閑のりつるまのりつる梅のむし甫六

ばらけりつるまのりつる梅のむし甫六

酢麩のりつるまのりつる梅のむし甫六

かしのりつるまのりつる梅のむし甫六

彼らのりつるまのりつる梅のむし甫六

そらのりつるまのりつる梅のむし甫六

とたのりつるまのりつる梅のむし甫六
 花のりつるまのりつる梅のむし甫六
 10 泥のりつるまのりつる梅のむし甫六
 うまのりつるまのりつる梅のむし甫六
 龍のりつるまのりつる梅のむし甫六
 赤のりつるまのりつる梅のむし甫六
 空のりつるまのりつる梅のむし甫六
 おのりつるまのりつる梅のむし甫六

ゆゑに授中しれおれ 建ある
嗚もれさしは山路よあちあち
手しを同くしむるは妹しよ 六

車六寄 升六寄 二人六寄

桃出代方 椿田螺罗

人越れさるなりめれさ
ふし柳のさきつらうて行の
巴龍

志し柳の梢ゆりしきまきあけ 吾雀
赤くしきつらうを柳のしりあ タシコ 子衡
ふししきつらうを柳の巻 サカイ 赤衾
あけれさるしきつらう カワラキ 芝五
あつらひのなれぬ極るれさる ハリマ 帆風
あけのさつらう サカイ 思山
大せの柳様 カワラキ 桃源
山中れさる タシコ 様 呉来

る海は深きつゝくちて四標か石人
松のたすきを濡すの雨の記 尺丈

混雑 十三句

二月そよみのころと月如那 集 普宥

牛の秋移るるをさうしなら 仁浦

うげゆはまを神たらしむれば 紫金

ふゆのちや新れ 祠冠

20
細らねらるる 花洲
松のまじりたる 鯉子
まゆらも 東雲
顔のまて 再宝
鳴るを 馬印
夕暮れ 如六
る 玉眉
舟杖 八千里
雄麻呂

梅香丸の香きく大根丸 大江丸

花梅香 香きく五句

30
風もらし日わさすもの香 蜂交
川ぬの匂ししきか 福丸
酒移れさし乾しきく如春坡
ちもさしきくさしきく山 復口
志もさしきくさしきく 翠実

ふれ目さしきくさしきく 去紫
さしきくさしきくさしきく 瑞馬
さしきくさしきくさしきく 栞室
久さしきくさしきくさしきく 奇瀨
我しきくさしきくさしきく 丘高
さしきくさしきくさしきく 弘三
はらさしきくさしきくさしきく 似月
川環さしきくさしきくさしきく 鳥雲

とあるかき紙

たがひも

い

若き虎

多古たなりの村

刷刀村上永古堂

